

カバイロシャチホコ *Ramesa tosta* Walker

【選定理由】

全国的に記録が少なく、県内では新城市における記録（井上，1959）が唯一で、以後全く記録がない。

【形態】

開張約 32mm、♂の触角は櫛歯状で、♀は糸状。前翅は基部から 2/3 の前縁部分と後縁部分が濃茶色で、中央部分から先端部にかけて薄茶色。後翅は白色でわずかに茶色の鱗粉を散布する。



新城市桜淵公園, 1957年6月16日, 菅 貞義 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

県内では新城市における記録（井上，1959）が唯一。

【国内の分布】

静岡県以西の本州、四国、九州のわずかな地点から記録されているが、1970年代以前の記録が多い。現在は九州の限られた草原が確実な産地として知られるのみである。

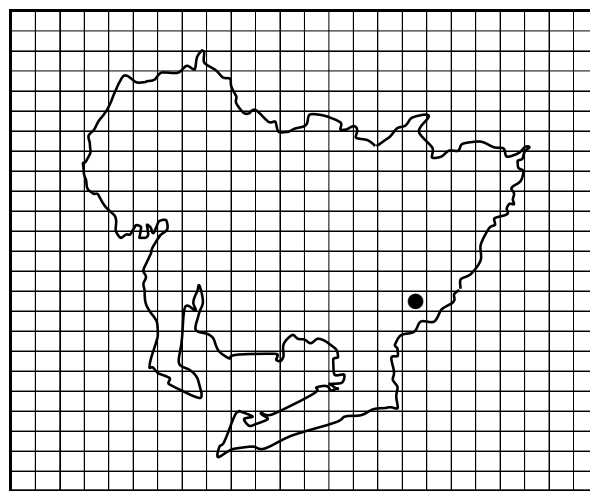
【世界の分布】

台湾、中国、ヒマラヤ周辺、スリランカ、タイ、ベトナム、インドネシアに分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

年2化、成虫は5月と8月に出現する。幼虫はイネ科植物を摂食することが知られており、草地性であることが示唆される（杉，1987）。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

既知産地はいずれも草地で、現存する生息地は広範囲にわたる草原のみとなっている。県内記録地である新城市は、当時草地が至る所に残存する環境であった。その記録以降、県内における新見がないのは、草地環境の減少と関係があると考えられる。

【保全上の留意点】

草地環境の恒常的な維持が必要と考えられる。

【引用文献】

井上 寛, 1959. 菅貞義氏採集の新城市桜淵公園の蛾類. 蛾類同志会通信, (16/17): 158-159.
杉 繁郎(編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑: 167, pl.78. 講談社, 東京.

【関連文献】

岸田泰典ほか, 2011. 日本産蛾類標準図鑑. II. 学習研究社.

(間野隆裕)